

SICかわらばん

SIC、入居企業、地域企業 を結ぶ情報紙 — 地域版 —

発行日：令和3年7月15日(木)
(2021年)

地域企業紹介 73

株式会社スタンコミュニケーションズ

自分の言葉で世界をつなぐ！

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、今急速なデジタル化が進んでいます。私たちのコミュニケーションも大きく変わりました。効率性や生産性がさらに求められる中、コミュニケーション研修を主な事業とする株式会社スタンコミュニケーションズの代表取締役である松尾由紀子さんにお話を伺いました。

同社は、独自のスタンメソッドによる企業経営者向けプライベートスピーチコーチレッスンや企業向け戦略的コミュニケーション研修をはじめ、司会事業や小学生向け英語プレゼンテーション教育事業などを手掛けている。とことん自分を見つめ、相手を見つめる力—この力を真ん中に据え置き、自分の強みを土台にして、日本語、英語、あるいは日英バイリンガルで自信を持って話すためのアプローチ、それが独自のスタンメソッドだ。あらゆる文化の違いを超えて分かり合える喜びと、自分のメッセージが伝わっていく幸せを、研修を通して多くの人に伝えることをミッションにしている。

グローバル社会における戦略的な「話す・聴く」スキルを身に付けることで組織力を上げ、ビジネスを成功に導くための手法を学ぶ。研修のポイントは、インプット1に対してアウトプット9。同時に「マインドセット」の重要性も再認識する。マインドセットは、過去の経験や教育、先入観から作られる思考パターンで「無意識の思考のクセ、思い込み」のこと。「成長型(グロース)」と「固定型(フィックスド)」があり、個人だけでなく企業ごとにも存在する。近年では、マインドセットがポジティブであるか否かが、ビジネスの成果に大きな影響を与えられていると言われており、様々な業種で役立つ汎用性と個人に対応した内容を併せ持つ。例えば、優秀な営業マンでもあと一押しが足りない。何が足りないのか、それを見出す。価格競争にならないように自社製品の魅力を、自信を持って“自分の言葉”で伝える力。どんな状況でも、マニュアルではない普遍的なコミュニケーション能力が身につくカリキュラムが大きな特徴だ。研修のイメージは、「自分の言葉を大切にすること」というOSに、「質問するスキル」「関係構築スキル」などの様々なアプリケーションがついているイメージだ。SICでは、ヒントセミナーや職場リーダー養成塾、ロボットSler養成講座におけるコミュニケーション研修などでお力添えを頂いている。

そんな松尾さんは福岡県の出身。大学卒業まで福岡で過ごす。小学校の頃は根暗でいじめられっ子だったそうだ。なかなか友達ができない中学・高校時代を経て大学に進学。このままではいけないとの思いからアメリカ留学を敢行。英語も話せない、生活様式や文化も違う異国の地で戸惑う日々が続く中、友達をつくることばかりを考えていたそうだ。そんな



代表取締役 : 松尾 由紀子 (まつお ゆきこ)
所在地 : 神奈川県川崎市高津区北見方 2-26-1-403
事業内容 : コミュニケーションやプレゼンテーション、話し方などに関する研修事業、司会事業、プレゼンテーション教育事業等
URL : <http://www.stancommunications.com>

ビジネスの現場ですぐに使える有料級の話し方のコツをお届けしています。キャンペーン期間中は動画を進呈。毎日のビジネスにお役立てください。



LINE登録はこちら

ある日、キャッシーという女性からプレゼントされたフォーチュンクッキーの中に「あなたは面白い、すばらしいユーモアのセンスがある」と書かれたメッセージが入っていた。その「言葉」に松尾さんはとても勇気づけられ、自ら発信できるようになり、友達も増え、うまく話せるようになったそうだ。まさに人生の大きなターニングポイントになったとのこと。

大学卒業後は、開局したばかりの長崎文化放送(テレ朝系列)に「記者兼アナウンサー」として入社。取材して原稿を書いて、着替えたらすぐにカメラの前で原稿を読む、一人何役もこなす仕事。入社してわずか8日目の4月9日。久米宏さんがキャスターを務める報道番組「ニュースステーション」で大村公園の夜桜中継に抜擢された。その時、松尾さんにとって決して忘れることのできない出来事が起きた。中継が始まり、久米さんに呼びかけられた瞬間、頭が真っ白になって何も話せなくなってしまった。この放送のために6時間前から大勢のスタッフに機材・照明・ケーブルとロケハン準備万端で「さあ、松尾やれ!」の声で大失敗。用意した原稿は半分も伝えられず、68枚の始末書を書くことに。そんな苦い経験をした松尾さん・・・その失敗の原因は、人の書いた原稿を読むだけで、自分の言葉ではなかったから。まさに自分の言葉で伝えることの大事さを痛感した瞬間だったそうだ。

長崎文化放送退社後は、個人事業主として日本テレビ、TBS、CNNなどでリポーターを務めた。法人設立のきっかけは、「今までは自分にライトが当たっていたが、これからはライトが当たる人を増やしていきたい」と思ったこと。プロの記者の取材技術とアナウンス技術をベースに分かり易く相手目線で伝えていく。そして、相手の変化量が自分の価値になると松尾さん。今後の夢は「自分の言葉で発信できる人を世界中に増やすこと」。今や、PC一台で世界がつながる時代。そんな時代に自分の言葉をもっともっと強くしたいと思う人たちのコミュニティや知的なやり取りができるオンラインサロンを作りたいと熱く語る。そんな松尾さんのモットーは「TY=とにかく、やる!」。グロースマインドセットで、常に明るくポジティブな松尾さん。「自分の言葉で世界をつなぐ」という壮大なビジョンに心からエールを贈ります!

ちなみに、人前であがらずに話せるようになりたい!大事なプレゼンテーションで成功したい!社内のコミュニケーションを活発にして業績を伸ばしたい!ビジョンや経営方針を社内でも共有したい!非対面でも商談の成約率や調整力を上げたい!こんな要望をお持ちの企業様、ぜひ松尾さんの研修を受けてみませんか。きっと課題解決に結びつく新たな気づきと元気が得られると思いますよ。

RPAによる業務の自動化で バックオフィスの働き方を変える!

入居企業紹介

74

さくらみらいマネジメントサービス株式会社

RPA(Robotic Process Automation)の開発に取り組むさくらみらいマネジメントサービス株式会社の舟生俊博社長にお話を伺いました。

舟生社長が経営するさくらみらい会計グループでは、「さくらみらい税理士法人」「舟生俊博公認会計士事務所」「さくらみらいマネジメントサービス株式会社」の三者が密接に連携し、企業の税務・会計・経営などに関する専門的なサポートに取り組んでいます。

今回お話を伺ったさくらみらいマネジメントサービス社は、同グループの会計コンサルティング事業を強化するために設立されました。SICには、2020年5月より、同社が事業化を進めているRPAの開発拠点として入居しています。

RPAとは、決まった手順で行われる定型業務や繰り返し行われるルーティンワークなどを対象に、パソコン操作を伴う事務作業をソフトウェアのロボットが人に代わって行う自動化ツールです。これによって、従来のシステムやアプリケーションでは行き届かなかった業務も効率化でき、作業時間の大幅な削減といった効果が期待

されています。

多くの企業では、生産性の向上を目指して、事務作業のIT化に取り組んでいます。しかしながら、実際には、それを担う人材やノウハウ、ツールが不足しており、結果として記帳・仕訳業務のIT化だけに留まっているケースが少なくありません。そこで、同社では、バックオフィス全体を改善する必要性を感じ、RPAを活用した事務作業の自動化システム開発に着手しました。

具体的には、すでにクラウドツール化されている会計ソフトをもとに、自社で独自に整理しているエクセルデータへと自動で抽出する仕組みや、各種伝票類のスキャンデータから自動で仕訳を行うシステムの開発を進めています。これからの総務・経理スタッフは、人が考えて行うべき仕事を優先させ、毎月の単純作業はRPAに置き換えていくことが、人の新たな仕事の領域であると捉えています。同社では、総務・経理スタッフのパソコンに、自身のアシスタントロボットがいるような環境を目指し、日々開発に取り組んでいます。

近年、中小企業は、経理業務を担う人材の世代交代とそれに伴う人材不足の問題

に直面しています。例えば、事業承継により経理業務を担当していた親族社員も引退したり、長年勤めた社員が定年を迎えたりして、独自の管理で築き上げた業務フローや総務・経理のやり方を引き継ぐことが難しくなっています。同社が開発を進めているRPAは、今まさに経理人材の問題に直面している中小企業を救う大きな可能性を秘めています。

また、特に製造業の現場では、手書き処理による紙での経理管理が中心の企業も多いため、データでの管理に移行・改善することが急務となっています。この場合、各企業に合わせた独自の最適化・自動化が必要になることから、RPAの導入に加えて、コンサルティング業務にも力を入れていきます。

同社では、RPAによる業務の自動化を通して、総務・経理業務を担うバックオフィスの働き方を変えていきます。

さくらみらいマネジメントサービス株式会社
SIC-1 Startup Lab. 1312 号室
<https://www.sakura-mirai.co.jp/>



すでに1年以上も続く新型コロナウイルス感染症への対応について、どの企業様も何かしらの対応を迫られたのではないのでしょうか。まずは、第1回として、新型コロナウイルス感染症に社会保険労務士として、どう対応してきたかをお話したいと思います。

新型コロナウイルス感染症の始まり

令和2年の新年を迎えた頃、まさか、新型コロナウイルス感染症がここまで感染拡大するとは誰も思わなかったと思います。しかし、3月の下旬になり、市中感染も日に日に増え始め、私は「本格的に雇用調整助成金の申請が増える」と危機感を覚えました。

早めに労働局の助成金センターに内容を確認しようと、何度も電話しましたが繋がらず、ホームページの内容を自分なりに解釈しつつ書類の準備をしていたのですが、内容がちょくちょく変わるので、関与先に正確な情報を伝えるため、直接行って確認するしかないと思い、何とか予約を取り、緊急事態宣言が発出されている中の4月14日に、助成金センターに行きました。するとそこはまさに三密状態、ビルの5階なので換気が悪い密閉、狭い廊下でたくさんの相談者が待ち、また、予約なしで相談者がひっきりなしに来所するので、密集、密接、感染リスクを考えると「これはまずい」と思い、帰ろうかと悩みましたが、せっかく必死の思いで予約をして、何も有益な情報が無いまま帰るわけにもいかず、廊下

に並べられた椅子に座り30分程度待ちました。そして、窓口に通され担当者とお話をして、今後の申請の進め方を確定させるつもりでしたが、担当者からは終始「現在の状況ではこのような流れですが、恐らく緩和措置などの改正が入ります」と言われ、これから助成金の申請は間違いなく増えるのに、どうしようかと頭を悩ませながら帰ったのを覚えています。あの当時のことを思い返すと、私だけではなく行政の方々も先行き不透明な新型コロナウイルス感染症への対応に試行錯誤しながら必死に対応していたのではないかと思います。

新型コロナウイルス感染症と雇用調整助成金について

雇用調整助成金について、後手後手に回った手続き内容等を考えると色々と言いたい方もいらっしゃると思いますが、はっきり申し上げて、よくここまで緩和してくれたと思います。そこで、従来制度と特例措置について、簡単に比較してみたいと思います。以下()内を特例措置とお考え頂ければと思います。

①生産性指標3か月で10%以上減少(1か

月で5%以上減少に緩和)②雇用保険の被保険者が対象(雇用保険の被保険者以外も対象、正確には雇用調整助成金ではなく緊急雇用安定助成金と言います)③助成金の日額上限額が8,330円(助成金の日額上限額が15,000円に引き上げ)④計画届の事前提出(計画届等の書類の省略)他にも緩和されましたが、率直に助かったのが、②、③、そして何よりも嬉しかったのが、提出書類の省略、特に今までは計画届を事前に提出しないと行けなかったのが不要になり、非常に申請し易くなりました。本助成金の問題点は、計画届の事前提出と、膨大な申請書類の作成がネックになり、申請を断念する事業主が多かったことです。令和3年5月1日以降分の申請からは、少しずつ要件が厳しくなり、一定の条件のもと日額上限額も下げられますが、まだまだ従前よりは、かなり手続きが緩和されています。

令和3年6月30日現在、8月までは、特例措置の延長が決まっておりますし、8月以降も縮小され、要件が厳しくなりながらも、さらに延長されると推測できます。ですので、解雇等をお考えの事業主は、せっかく一緒に頑張ってきた従業員を解雇する前に、雇用調整助成金の申請を考えてみる必要があると思います。解雇には必要なこともあります、大切な従業員を解雇する前にやるべきことがあるのではないかと思います。

鈴木道士行政書士・社会保険労務士事務所
代表 鈴木道士

大学卒業後は都内の建設会社に入社し、都営地下鉄大江戸線の現場監督などを担当。その後、平成11年に社会保険労務士の資格を取得。資格予備校での講師業を経て平成18年に独立開業。以後、人事・労務の専門家として、地域の企業・経営者の支援に取り組んでいる

Megu Gelato (メグ ジェラート)

Megu Gelatoは、津久井湖畔「城山公園 水の苑地」にあります。塩田店長は、津久井在住の一児の母。公園に出かけたとき娘と一緒に食べるオリジナルスイーツがあったら良いなと思ったことが創業のきっかけ。自ら作ろうと八王子のジェラート店で修業し、今年3月、夢にまで見た公園にオープンしました。ロゴには、大好きな公園から見る津久井湖の景色が描かれています。

自ら仕込むジェラートは、愛川の搾りたての生乳をベースに地産の食材を使用したもの。メニューは日替わり。本日のラインナップは、生乳の澄んだ味わいが楽しめる「しぼりたてミルク」、在来大豆の風味の効いた「津久井きなこ」、陣馬山麓の緑茶味の「佐野川茶」、山梨産の「プラム」と「とうもろこし」など9種類。取材スタッフとダブル(2種類)を選び津久井湖の景色と店長の夢が詰まったジェラートを堪能しました。

まだまだたくさんのメニューがあるとのこと。自然の中でオリジナルジェラート、味わってみませんか。ポーノ! (稲垣)



The HINT52 (SIC ミニセミナー)



【中小・ベンチャー企業 必見!!】

失敗しない“人材採用” ここでしか聞けない採用活動のポイント

中小・ベンチャー企業にとって、人材の採用活動は自社の成長を左右する重要な活動のひとつです。しかしながら、採用活動を巡る様々な誤解や先入観が、採用に関する“不安”や“失敗”につながっているケースが少なくありません。

そこで、今回の The HINT (SIC ミニセミナー) では、長年にわたり中小・ベンチャー企業の採用支援にも取り組んできたマイナビの綿貫氏を講師に迎え、具体的なデータや事例も交えながら、目からウロコな採用活動成功のポイントを学びます。

主な内容 ※内容は一部変更になる場合があります。

- ①そもそも採用活動とは何か?
- ②コロナ禍で中途採用市場はどう変化したか?
- ③採用手法を考える前に最も意識すべき2つのこと
- ④主な採用手法と事例紹介



大学生インターンシップによる
“企業PR動画制作” 参加企業募集中!!

サガツナビは、地元密着型採用（就職）支援サービスとして、“地元企業の採用”と“地元学生の就職”の双方が円滑化されることを目指しています。今回のインターンシップでは、大学生が地元企業の魅力を伝えることを目標に、企業でのインタビューや社内の様子を20分程度の動画にまとめていきます。サガツナビでは、この“企業PR動画制作”のインターンシップにご参加・ご協力いただける企業を募集しています。ご関心のある方は、お気軽にお問い合わせください。

【取材日】令和3年8月16日～8月27日のうち約半日

【成果発表】令和3年9月10日（金）9:30～17:00

【お問合せ】事業創造部 上野※実施内容、スケジュール、参加費用などの詳細は担当までお問い合わせください。

2021.7～8 SIC EVENT CALENDAR イベントカレンダー

令和3年8月26日(木) The HINT52(SICミニセミナー)
「失敗しない“人材採用”～ここでしか聞けない採用活動のポイント～」

入居企業を募集しています。

SIC空室情報 (令和3年7月15日 現在) ※お気軽にお問い合わせください。

部屋	空室数	賃料/月額 (共益費込・消費税抜き)
SIC-1 Startup Lab.	○スモールオフィスB (17.3㎡)	1 64,200円

こんな方におすすめ!!

- 人材を採用したいけどミスマッチが心配...
- 求人を出しているのにほとんど応募がない...
- せっかく採用してもすぐに辞めてしまう...
- そもそも採用のやり方がよくわからない...

開催概要

日程 令和3年(2021年)8月26日(木)
時間 15時00分～16時30分
会場 オンライン開催 (Zoomを利用します)
対象 SIC入居企業様、地域企業様 (但し、入居企業様優先となります)
参加費 無料 (定員30名) ※定員に達し次第、締め切ります。
講師



綿貫 哲也氏

株式会社マイナビ 支社業務推進担当

[経歴]

1987年マイナビ入社。就職情報事業本部では250社の採用募集活動に携わる。その後、HRコンサルティング事業部では、知名度に関係なく採用を成功に導くコンサルティングを実践。2004年からの3年間における講演会参加社数は1,300社に及ぶ。著書に「中小企業の採用担当者へ!これが新卒獲得のノウハウです」(実務教育出版)

SIC Facebook ページ 随時更新中!!

SICのFacebookページでは、ホームページやかわらばんに掲載していない日々の活動の様子を発信しています。

皆様の「いいね」や「フォロー」をお待ちしています!

ユーザーネーム @sic.sagamihara



セミナーの様子



年末恒例の
フリーマーケット



除草・草刈り作業



リモート見学会の
配信スタジオ

詳しくは、SICホームページをご覧ください。

<https://www.sic-sagamihara.jp>

編集後記

これまでに1万人以上の経営者やビジネスマンのスピーチコーチを務めてきた“表現力の女王”松尾さん。現在放送中のNHK大河ドラマで描かれている渋沢栄一氏は“日本資本主義の父”、バナソニックの創業者である松下幸之助氏は“経営の神様”といった異名で呼ばれています。皆さんは、自社の強みや特徴などからご自身の異名を考えるなら、どのようなものを思い浮かべますか?



(株)さがみはら産業創造センター(SIC)
〒252-0131 相模原市緑区西橋本5-4-21
電話:042-770-9119 FAX:042-770-9077
E-mail: koho@sic-sagamihara.jp

ご意見・ご感想を
お待ちしております。

ウェブサイト <https://www.sic-sagamihara.jp/>